更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社オートバックス西日本販売 熊本カンパニー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

チャレンジ項目記入数　23

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念、経営目的、経営方針を明文化し、特に理念については、様々な機会を通じ反復し取り組んでいる。 ・オートバックスグループとしての経営方針も朝礼時にその使命を唱和し認知の徹底に取り組んでいる。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令違反やコンプライアンスへの抵触となる基準を具体化させ、報告ルールや発生時の対応マニュアルを示し運用している。 ・当社起因の問題でステークホルダーに悪影響を与える事態に備え、危機管理委員会を設置している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・公正取引の必要性、日常業務での発生するケースを説明し、状況に合わせて指導を反復している。 ・オートバックスグループのEラーニングを活用し基礎学習を習得させている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・サプライチェーンにおいて取引先との情報共有を図り、社会に悪影響を与える懸念を事前に払拭する体制を構築している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・オートバックスグループのEラーニングを活用し基礎学習を習得させている。 ・特にサービスロゴなどの商標権にからむ商品接点が多いため、過去事例を見せながら不正に対し強い指導を行っている。								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報に抵触する書類などは、適切に保管している。 ・個人で利用するPCには個人情報の保持を禁止している。 ・年2回、オートバックス本部からの定期監査で客観的なチェックを受けている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・運営状況の可視化に努め、円満なコミュニケーションの構築に取り組んでいる。 ・特に株主に対しての経営状況の共有は月1回の報告を欠かさず行っている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・サプライチェーンにおいて取引先との情報共有を図り、事前に懸念事項の払拭を図っている。 ・特に、産業廃棄物に関わる履歴は第三者が閲覧できるようにし、必要に応じ各ステークホルダーに速やかに開示できるようにしている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・非常時におけるルールを示し、水などの備蓄は完了している。 ・事業継続計画において、まずは従業員の安否確認システムを導入し、登録と改廃を行って有事に備えている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業継続の観点から、代務者の選定を取り決め、会社運営は社則、職務権限に沿って運用し、可視化に取り組んでいる。 ・次世代経営者、経営幹部候補をリスト化し、階層別教育を施し、人材育成を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	・ステークホルダーであるオートバックスセブンを通じ、現在の取引先にフェアトレード商品の拡張に向けた開発を促し、フェアトレード商品の取り扱いを促進している。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用や採用にあたり差別的な判定を決して行わないこと徹底している。 ・万一差別が行われている場合は、オートバックスグループ社内通報制度を通じ報告する旨を事務所、休憩室等に掲示している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・月に1度の職場環境点検を経営幹部で巡回し、職場の不具合、顧客への衛生面安全面での不具合を確認し、不備は速やかに改善している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用体系に関わらず、職務の責任、難易度、必要とする能力を評価制度を用いて個人ごとに明確にし、同一労働同一賃金の原則に適応した処遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・不必要な残業の防止のため、勤務時間の管理を徹底すると共に、家庭と仕事の両立に合わせ、健全で文化的な生活を目指し、社員同士のクラブ活動を奨励しサポートしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・自動車整備に関わる公的資格について受験資格を保有する者は、グループの教育機関に業務の一環として受講させている。 ・グループのEラーニングを用いて、その人に必要な学習内容を示し、受講進捗を把握し、期日を定めて学習を促している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・特に喫煙率の低下を促す啓蒙を継続している。又、スポーツやアウトドア活動などを励行し、心身ともに健全であることの有用性を反復して情報発信している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・グループ会社を通じ技能実習生の受け入れを行い、特定技能への移行に取り組んでいる。 ・特別支援学校のインターンシップを実施し、将来の採用に繋がる活動に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・WEB会議は導入済。一部社内会議や県外の他社との打ち合わせでリモートで実践している。 ・不要な残業を減らして速やかに帰宅する体制を推進し、ワークライフバランスを高めることを指導している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・リモート技術を活用し、成功ノウハウの情報共有のスピードを高め、横断的な取組により成果が生産性向上に発揮されている。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・2022年ブライト企業認定済みであり2025年度10月更新予定。 ・職種横断型ジョブローテーション推進、多言語対応強化、女性管理職育成プログラムで、多様な人材が輝く環境を創ります。			3	4				8	9			12					

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社オートバックス西日本販売 熊本カンパニー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

チャレンジ項目記入数　23

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物の処分状況は、マニフェスト管理を徹底し、法令に定める保管設備をもれなく設置し適切に処理している。 ・有機物などの取り扱い状況はオートバックスチェン本部からの定期監査で不備の確認を合わせて実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電気は外部業者を通じて消費電力のレポートをいただき、過剰な電力消費がないか確認し、節電効果のある設備に順次切り替えている。 ・ガソリンも支払を法人カードで一元化し、消費状況を可視化している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・CO2簡易計算シートを用いて、CO2排出量を算定し、室内エアコン温度の冷房28度、暖房20度を基準として運用している。 ・当社9事業所のすべての照明をLED化し電力消費抑制に貢献している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・顧客へのビニール袋の配布は有償とし、事業備品もプラスティックやビニール素材の物を極力排除している。 ・産業廃棄物の保管庫は施錠し、勝手に持ち出さない様に管理している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・リユース商品の買取強化キャンペーン等にて品揃え拡充を行い、循環型社会の実現に向け、2028年度売上構成比1.0%を目標にリユース事業拡大に取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・飲料水は水道水を飲むことを励行し、ペットボトル飲料の購入減少に合わせ、熊本の良質な水資源の価値を認識させている。 ・汚水処理は産廃管理の一環で取り扱いを厳重に行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・取り扱うタイヤとエンジンオイルの多くを環境性能の高い商品に切り替え、販売することにより燃費改善、CO2排出低減を促している。 ・車両の燃費性能が改善する商品への置き換え販売を励行している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・従業員の昼食時に食べ残しを減らす告知を提示し啓蒙している。 ・自宅でのスローフードの習慣化を促し、不必要な食事の摂取の改善への啓蒙を行っている。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・大店法に沿った緑地の設置を行い、緑地としての維持を行っている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・運営店舗全店をLED化し電気使用を低減している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	・植樹基金への寄付を行う為、募金を行っている。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	・植樹基金への寄付を行う為、募金を行っている。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・顧客へのビニール袋の配布は有償とし、事業備品もプラスティックやビニール素材の物を極力排除している。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・従業員が通勤に使うマイカーの消耗品は、燃費性能を向上させる製品の使用を励行している。									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・2030年の車両電気化に向けて、当社自動車整備士が低圧電気取扱特別教育を受講する事に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

更新 SDGs達成に向けた取組みチェックリスト　事業者名：株式会社オートバックス西日本販売 熊本カンパニー

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

チャレンジ項目記入数　23

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・販売サービスをアンケート形式で顧客から収集するシステムを活用し、週1回で顧客の意見をフィードバックしている。 ・販売上著しく良質でない商品は、オートバックスチェン本部から随時情報発がなされ対処している。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・店舗各所でのバリアフリー化を実施している。 ・障がい者専用のトイレを設置している。 ・バリアフリーが満たない箇所は、従業員にて優先的にサポートすることを義務付けている。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・店舗イベント等で熊本県の地場生産物を販売する販売店を優先し、出店協力を仰いでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・電子整備車両を整備する環境にて、地域整備工場が共有工場として活用いただき、熊本域内が電子整備作業を滞りなく実施できるように寄与している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・従業員に対し、居住する地域の活動に参画することを奨励している。 ・熊本県交通安全協会への寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを全事業場に設置し、避難経路を全員認識させている。 ・年2回の消防訓練を兼ねて、避難誘導の練習を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・AED機器を設置し、応急対応できる人員を育成している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・避難中の車中泊に向けた商品パッケージの提供や防災関連用品の販売を行っている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・ステークホルダーにSDGsの取組への理解啓蒙、および社会貢献に向けた協調の進言を行っている。 ・従業員への社会性を高める啓蒙教育を実践している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・2024年度は1事業場、2名の受け入れを実施。2025年度以降も積極的な受け入れを行っていく。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内採用を積極的に行い、資格取得などの教育を促し、地元人材の育成を優先的に推進している。 ・県外からのUターンも積極的に受け入れるため、各種求人媒体のUターン募集の表記をもれなく掲示している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・当社顧客やステークホルダーから、農林水産事業者に就業を希望する場合は、必要窓口を紹介するなど協力している。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17
			25	25																		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。